

伊藤園の 環境に関する 主な取組みについて

2020年12月



商号 : 株式会社伊藤園
設立 : 1966 (昭和41) 年8月22日
本社所在地 : 東京都渋谷区本町3-47-10
代表者 : 本庄 大介 (代表取締役社長 執行役員)
上場/決算期 : 東京証券取引所 市場第一部 / 4月
連結売上高 : 4,833億円(2020/4期)
資本金 : 199億円
連結従業員数 : 8,338名(単体5,403名)
営業拠点 : 196拠点
店舗数 : 122店舗



経営理念

お客様第一主義



<お客様の定義>

消費者の皆様 株主の皆様 販売先の皆様
仕入先の皆様 金融機関の皆様 地域社会の皆様

伊藤園グループの沿革



2020年9月に「伊藤園グループ中長期環境目標」を策定



容器包装の 取組み

伊藤園グループ プラスチックに関する方針

「2030年までにペットボトルに使用するリサイクル素材等（生物由来素材を含む）の割合を100%にすることを目指す」ことなどを掲げた方針

※詳細 次ページ



CO₂ 排出量 削減目標

- ・ 2030年度目標…
2018年度比 26%削減
- ・ 2050年度目標…
2018年度比 50%削減



リサイクル (資源循環)

- ・2030年までに、ペットボトルに使用するリサイクル素材等*の割合を100%にすることを目指します。
 - ・ペットボトル以外の用途においても、リサイクル素材の利用を推進します。
 - ・行政機関、業界団体、取引先等と連携し、リサイクル率向上に向けた活動を推進します。
- *生物由来素材を含む



リデュース (省資源化)

- ・さらなる容器包装の軽量化・使用量削減に向けて容器設計、生産方法の改良を行います。



リプレイス & リユース

- ・生物由来素材、生分解性素材の使用を推進します。
- ・飲食事業において、再利用可能な容器への代替も推進します。



クリーン (環境保全)

- ・プラスチック資源有効活用のための、分別収集の促進、清掃活動等の社会貢献活動への参加とともに、各地の環境保全活動を継続的に支援します。



リサイクル
(資源循環)

ペットボトルリサイクルの取組み



ボトルからボトルへのリサイクルを推進

伊藤園は、回収された使用済みのペットボトルをリサイクルして、新たなペットボトルの素材に使う「ボトルtoボトル」のリサイクルを推進

「お〜いお茶」電子レンジ対応345ml
ペットボトルはすべて、2019年に
「100%リサイクルペットボトル」に切替済み



ルートセールスの営業員が「リサイクルボックス」
(自動販売機横の空容器入れ) から、缶やペットボトルを直接回収



営業員が空容器
(ペットボトル等) を回収し、
営業拠点へ持ち帰る

回収された缶やペットボトルは、全て適正な再資源化事業者により、
埋め立てや焼却されることなくリサイクルへ

容器包装資材の使用量削減による、 ペットボトルの軽量化（環境配慮型容器）

当社が採用している飲料製造方式「NSシステム*」は、
常温・無菌充填をしているため、ペットボトルの耐熱性が
低く抑えられ、**ボトルの軽量化が可能**



* NSシステム

Non-Sterilant（殺菌剤を使用しない）

- 殺菌剤不使用の常温・無菌充填
- ボトル資材の軽量化
- 製造エネルギー、配送エネルギーコストとCO2の削減



「お〜いお茶」(525ml)

ボトル重量:19g

従来比 約30%軽量化

キャップ重量:2.6g

従来比 約13%軽量化

ラベル厚さ:20マイクロメートル

従来比 約40~50%薄膜化



「健康ミネラルむぎ茶」
(2L)

ボトル重量:28.4g

従来比
約27%軽量化

環境配慮素材を使った製品の販売

「お〜いお茶 緑茶」のティーバッグに、植物由来の生分解性フィルターを採用し、従来のフィルター使用量を50%削減

個包装材をプラスチックから紙へ。プラスチック年間使用量、約15t削減



植物由来
生分解性フィルター

フィルター使用量
約50%削減

従来 新



個包装材質の見直し

プラスチック年間使用量
約15t削減

プラ → 紙 リリサイクルマーク



カートン・ダンボール

FSC認証を
取得



FSC認証紙とは、
適切に管理された森林からの
木材を使用した用紙です。

「お茶で日本を美しく。」キャンペーン

伊藤園が日本全国各地で行われる環境保全活動などを支援させていただき、伊藤園社員が実際に、様々な環境保全・整備活動に参加する取組み（2010年から実施）



三重県においても、「お茶で三重を美しく。」キャンペーンを実施
(2019年度は、「みえの里地里山保全活動」を支援させていただきました)



茶殻リサイクルシステム



茶系飲料製造過程で排出される茶殻の一部を、
様々な製品の原材料としてリサイクル



茶殻



茶殻入り段ボール



茶殻入り封筒



茶殻入り空容器
回収ボックス



茶殻の消臭・抗菌効果
などの特性を活かした
製品開発

茶殻抗菌シール
装着 自動販売機



茶殻入りベンチ



人工芝充填剤
Field Chip



GREEN TEA
PILLOW-S



紙、樹脂、建材など、
各製品の代替原料
としての活用

茶殻入り畳：
さらり畳



茶殻入りせっこう
ボード



茶殻入りデザイン
ウォール



(参考) 当社の取組みが貢献するSDG s

2 飢餓を
ゼロに



2. 飢餓をゼロに
持続可能な農業（茶産地育成事業）

12 つくる責任
つかう責任



12. つくる責任つかう責任
茶殻リサイクル、容器リサイクル、食品リサイクル
持続可能な農業（茶産地育成事業）

3 すべての人に
健康と福祉を



3. すべての人に健康と福祉を
健康で豊かな生活文化の提案

13 気候変動に
具体的な対策を



13. 気候変動に具体的な対策を
CO2排出量の削減目標

4 質の高い教育を
みんなに



4. 質の高い教育をみんなに
伊藤園健康フォーラム、
伊藤園ティーテイスターによるお茶文化の啓発

14 海の豊かさを
守ろう



14. 海の豊かさを守ろう
空き容器回収、容器リサイクル

8 働きがいの
経済成長も



8. 働きがいの経済成長も
従業員の働き方改革

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



17. パートナーシップで目標を達成しよう
地域との協働、業界団体との協働